

「青少年からのメッセージ」の募集結果について（報告）

1 事業の目的

毎年、異なるテーマを設けて、青少年（18歳以下）から作文及び漫画・イラスト形式のメッセージを募集し、入選作品を掲載する作品集を作成・配付することにより、自己表現や自己実現の機会を提供して青少年自身の人格形成に資するとともに、地域社会における青少年の健全育成に対する関心を高める。

2 事業の概要

(1) テーマ

「大人になるということ」

今年度より成年年齢が20歳から18歳へ引き下げられたことから、子供たちが「大人」について改めて考える機会とする。

(2) 規 格 【作文部門】 400字程度の文章（440字以内。ただし、小学1・2年生は200字程度の文章でも可）

【漫画・イラスト部門】 1～4コマの漫画・イラスト

(3) 応募資格

市内に在住又は通勤・通学する、小学生から概ね18歳までの者

(4) 募集期間

令和4年6月1日（水）～令和4年7月4日（月）

(5) 応募結果

作文部門15, 936点、漫画・イラスト部門451点、合計16, 387点

参考：各年度のテーマ及び募集結果

区 分	H29	H30	H31	R2	R3	R4	
テーマ	電子メディアと上手につきあうには	私を支えてくれる人やもの	だれかのためにできること	今、友だちに伝えたいこと	こんな広島がいいな	大人になるということ	
作文	小	4, 346	5, 023	4, 829	4, 807	5, 628	5, 176
	中	8, 691	9, 024	10, 366	8, 505	8, 690	10, 323
	高・一般	364	299	272	332	281	437
	計	13, 401	14, 346	15, 467	13, 644	14, 599	15, 936
漫画	小	658	149	108	213	472	444
	中	2	9	4	17	6	7
	高・一般	6	4	2	1	0	0
	計	666	162	114	231	478	451
計	小	5, 004	5, 172	4, 937	5, 020	6, 100	5, 620
	中	8, 693	9, 033	10, 370	8, 522	8, 696	10, 330
	高・一般	370	303	274	333	281	437
	計	14, 067	14, 508	15, 581	13, 875	15, 077	16, 387

(6) 選考

- ・ 9月30日（金）に審査委員会〔学識経験者、関係団体等（作文部門9名、漫画・イラスト部門9名：別添名簿のとおり。）〕を開催した。
- ・ 作文部門は、「小学生の部」、「中学生の部」、「高校生・一般の部」別に、漫画・イラスト部門は一括して、入選作品〔作品集掲載作品〕を選考した。

○ 入選作品〔作品集掲載作品〕数：合計75作品

- ・ 作文部門 小学生の部：28点（金賞1点、銀賞1点、銅賞2点及び入選24点）
中学生の部：27点（金賞1点、銀賞1点、銅賞2点及び入選23点）
高校生・一般の部：13点
（金賞1点、銀賞1点、銅賞2点及び入選9点）
- ・ 漫画・イラスト部門：7点（金賞1点、銀賞1点、銅賞2点及び入選3点）

参考：審査委員の主な意見

- ・ 小学生ながら、どの作品も自分の主張がはっきりと書かれており、大人になるということについて、どの子もイメージを広げているということをすごく感じた。
- ・ 昨今暗いニュースもある中でも、子供たちは、自分の将来に対して希望を持って頑張っているということを感じた。
- ・ 父母や教師などの身近な人から「大人」についてのイメージを強く受け取っている人が多いことがわかり、読んでみると、逆に自分の生き方を問われているように感じた。
- ・ 成人イコール大人ではないという主張を多くの生徒がしており、大人になるということとは一体どういうことなんだろうという疑問を、自分に落とし込んで、色々と考えているなど感じた。
- ・ 高校生になると、すぐに18歳という成人のラインが来るので、社会に対して自分自身を置いて見ていると思った。また、自分がどうしたいのかについて考えたり、失敗談を今後に生かしてみたりするなど、今からやって来る18歳に対して、大人の自覚があると思った。

(7) 表彰

- ・ 金賞・銀賞・銅賞の入選者に対しては、11月19日（土）に青少年センターで開催する「第36回広島市青少年健全育成市民大会」において、市長から表彰を行う。また、その他の入選者へは、学校を通じて賞状を授与する。

(8) 作品の活用

- ・ 学校での学習の参考資料として役立ててもらうことや、地域社会での青少年健全育成に対する関心を高めるため、全ての入選作品（75作品）を掲載した作品集を、各学校や公民館等の関係機関及び地区青少年健全育成連絡協議会に配布するとともに、各学校へのデータ配信や本市ホームページへの掲載などを行う。

(別添)

令和4年度「青少年からのメッセージ」審査委員会委員名簿

区分	審査委員	所属・役職	審査部門	
			作文	漫画
学識経験者 及び 有識者	谷村 敏彦	広島市青少年健全育成連絡協議会理事	○	○
	児玉 真樹子	広島大学教授	○	○
	板倉 妙子	広島市地域活動連絡協議会会長	○	○
	三浦 精子	日本児童文学者協会広島支部長	○	
	新田 千佳子	日浦中学校長(令和4年度広島市中学校教育研究会 国語部会長)	○	
	岩本 ゆか	高南小学校長(令和4年度広島市小学校教育研究会 国語部会長)	○	
	城井 文	広島市立大学芸術学部デザイン工芸学科講師		○
	橋本 忍	二葉中学校長(令和4年度広島市中学校教育研究会 美術部会長)		○
	下原 正樹	己斐東小学校長(令和4年度広島市小学校教育研究会 図画工作部副会長)		○
行政関係者	西本 哲也	教育委員会青少年育成部育成課長	○ (委員長)	○ (委員長)
	福田 崇宏	教育委員会青少年育成部育成課 非行防止・自立支援担当課長	○	○
	坂本 優治	教育委員会青少年育成部放課後対策課長	○	○
	13名		9名	9名

(敬称略)

大人って楽しいのかな？

《小学生の部 金賞》

五上市中央小学校四年 加藤 未衣

「ちよつとまってね。」あらい物をしていたお母さんはとてもいそがしそうだった。わたしは、今聞いてほしいのになあと思った。大人っていつもいそがしくて大変そうだ。だって家族のごはんを作って、せんだくやそらじをして、外での仕事もたくさんある。それなのに、お母さんはふしぎといつも楽しそうに見える。お母さんが仕事から帰って来た時にわたしが、笑顔で「おかえりー。」と言つと、お母さんはわたしの肩をいわたつてくれる。そしてわたしもつられてまたわたつてしまう。大人って子どもみたいに遊ぶ時間もないのに楽しいのかなあ。そう思ったわたしはお母さんに「大人って楽しいん？」と聞いてみた。するとお母さんは「大変なこともあるけど、楽しいこともたくさんあるよ。大人になったら分かるはず。」と言つて、ニコリした。そう言われて、わたしは少し、大人になるのが楽しみになってきた。大人になるということば、ドキドキするけれど、ワクワクもする。わたしも大変なことを楽しいと思えて、思いやりと笑顔がある大人になりたい。

成人と大人

《小学生の部 銀賞》

段原小学校六年 大町 誓月

今年から「成人」が十八歳に変わった。

こんなニュースを見たとき、私はとても不思議でした。

自分の力で生活し、自分の行動の責任を自分でとる。それが私の「大人」のイメージです。自分でかせいだお金で生活することや、何か困ったことがあつても先生や親に言つて解決とならないことは、「大人」のすゝくきびしい面だと思います。私のまわりには、そんなきびしいことをこえて生活している人がたくさんいます。しかし、きびしいことを乗り越えていく力は、「成人」になつたしゅんかんに身につくようなものではないはず。だから十八歳が「大人」になれるのが、なつていいのかが疑問でした。

しかし、考えるうちに気づきました。「大人」は子供に「成人」の意味を教える時言いかえられる言葉ですが、本当は「大人」と「成人」はちがう意味があるということ。です。

「成人」はみんななれますが、「大人」は人生で様々なことを学んでなれるものです。私も六年後「大人」のなれるよう頑張ります。

自分のために相手のために

《小学生の部 銅賞》

草津小学校六年 錫村 義聡

私は、何かを決めるとき自分から率先して行動していませんでした。ですが、大きくなるにつれ自分から行動するようになりました。

だれかがやるまで何もしなかったり、だれかに言われてやったりと、言われたらやるという感じの私。だけど五年生の時、自分に任せられる仕事が増えた。さらに六年生になって、学校のリーダーとなった。今までは、「ありがとう」と言う立場だった自分も、一年生などから「ありがとう」と言われる立場になった。そこで、自分から行動するようになった。

大人になるにつれて、決められた仕事以外にも「だれか、やるとして」と決められていない仕事も増えていくと思う。そんな時のために今、自分から行動する力をつけておきたい。

今はまだ、意識をしながら動いているけど、だんだんと、こまっている人やだれかがやるか決まっていない仕事など、意識をせずには立ち上られるようになりたい。大人になるということとは、自分から行動する人だと私は思う。自分のためにも相手のためにも一歩、進んでいきたい。

社会の一員に

《小学生の部 銅賞》

庚午小学校六年 三井 悠

私は、大人になるということとは、「自分も社会の一員になって、政治に参加できるようになる」ということだと思ふ。なぜなら、大人になったら選挙に参加できるようになるからだ。そうすれば自分の考えが少しでも政治に反映されるかもしれない。例えば、私は環境のことを考えたり、SDG sに取り組む事が、これからの世界に大切だと思っている。

また、女性の政治がもう少し増えてほしいと思っている。理由は、その方が多様な考え方の政治が行えると思うからだ。この二つを表現するにしても、国民が投票しないとほじまらない。でも、今は特に若い人たちが投票しなくなってきたと聞いたことがある。私は、大きくなったら積極的に選挙に参加しようと思ふ。せつかく自分の意見が聞き入れてもらえるかもしれない、自分の一票で政治の方向を変えられるかもしれないのに投票しないのはもったいない。だから私は、選挙に行けて政治に参加できるということが、大人になってできることのひとつだと思ふ。

自由と責任のバランスを意識して

《中学生の部 金賞》

日田中学校一年 金光 千夏

私は、この作文を書く時、お父さんに言われたことを思い出しました。

「大人は自分で好きなことをして好きなものを食べて自由に過ごせる。でも、自分が間違っても誰も代わりに責任を取ってくれる人はいない。だから今は、大人になつて自由と責任のバランスをしっかりとるための練習として、学校に行っているんだよ。」

子供のうちは、自分が悪いことをしても、親の責任で済むかもしれないけれど、大人になると、自分の行いに責任を持ち、間違ったら自分の責任になります。つまり、大人になればなるほど、発言や行動には十分気を付けなければならないのです。さらに、大人は自分を自分で管理しなければならないので、自由と責任のバランスが重要なんだと私は思います。

そのために私は、自分の発言や行動に責任を持ち、人と誠意をもって接していこうと思います。これらを今のうちに練習しておき、自由と責任のバランスのとれた大人になりたいです。

大人になるということ

《中学生の部 銀賞》

中広中学校三年 吉原 未来乃

大人になるということは自分の意見を持ち相手に伝えられること、相手の意見を聞き、それらを折り合わせてまとめていけるようになることだと思う。

私の小・中学校生活を振り返ると、自分の意見ばかり主張し、他人の意見を受け入れない子、他人の意見に頼りきりで自分の意見を言わない子が多かった。その中には自分の意見が通らないと怒ってしまい手をあげてしまう子もいた。

世界でおきている争い事は両者がすれ違い、耳をかさないことでおこっているケースが多いと感じる。解決の道は戦争に発展するような強行策ではなく思いを主張し、受け入れ、譲歩し合う話し合いの力が互いに必要である。

今、私たちがができることは、自分の意見を自信をもって主張するために、たくさん人の知識を身につけていくこと、相手の意見を知り受け入れるため、物事を多角的に見る力を養うことである。学校での生活や学習を大切にすることで少しずつ大人に近づいていきたい。

私になりたい大人

《中学生の部 銅賞》

楠那中学校一年 中元 瑠香

私にはとても大切な家族がいます。私の家族の中には姉が二人います。一人は、脳せいまいびという病気です。話すこともできないし歩くこともできません。それでも私は姉に話しかけたり、お世話をしています。

昔、旅行に行ったときに、車いすで行動している姉をみんながジロジロとみてきました。姉の病気を知らない人から見ると、変な大きい赤ちやんと思うと思います。私はそのみんなの視線がすこし苦手です。大切な姉が、みんなにどう思われているのかすごく不安になります。その日の夜に、お母さんに聞きました。

「もあがみんなにみられて嫌じゃないの？」

そしたらお母さんが、

「私の子どもを見られて何がいやなのよつむしろみんな私の子どもを見るっ！と思う！」と言いました。その言葉を聞いて、私はお母さんみたいに周りの目を気にせず生きていこうと思いました。

私がこれから差別のなく平等な世界をつくれる大人になりたいです。

大人になるということ

《中学生の部 銅賞》

三入中学校三年 蝶野 珠実

私は、大人になるということは自分の大切な人やものを守るようになることだと思います。私の周りには、かつこいい大人がたくさんいます。私たちの安全を守ってくださる地域の方、家族を守ってくれる両親、生徒を守り、導いてくださる先生方。私たちは、たくさんの大人に守られ生きています。私も、自分の大切な人を守る素敵な大人になりたいと思います。

そのために、私は小さな思いやりから始めたいです。友達や家族を思いやり、自分の周りの人達を大切にしたいと思います。そうすることで自分の大切な人を守るということにつながっていくと思っただからです。守るということは簡単なことではありません。しかし、守りたい人を大切にすることで、その人を守る第一歩を踏み出せると思います。

私は、自分の大切な人を守る、かつこいい大人になるために、思いやる心を忘れず、人やものを大切にしていきたいと思います。そして、私たちの力で愛する日本の国を守っていききたいと思います。

経験すること

《高校生・一般の部 金賞》

比治山女子高等学校三年 杉浦 日向子

私は今年の五月で十八歳になりました。法律上では成人したことになります。選挙にも行こうと考えていますが、周りから見ても、まだ子どもに見えると思いますし、自分でもその通りだと感じます。

それはなぜか。私は経験の差があるからだと思います。例えば、一回り離れている人を見てこの人は子どもっぽいな、と感じることもありますし、同じ年の人を見て大人びた人だ、という感想が生まれることもあります。それはその人の思考、言動、挙動を含めてその人が送ってきた日々や経験が雰囲気形成しているからではないでしょうか。

今まで成人すれば大人になれると思っただけで暮らしてきましたが、驚くほど変化はありません。大人になるということは年齢のようなシンプルなものではなく、それぞれが生きてきた経験によって判断するもののような気がします。素敵な経験を経て大人になった人は輝いて見えます。まだ子どもでいるからこそ、糧になる経験を積んで輝く大人になりたいです。

その失敗を成功へ

《高校生・一般の部 銀賞》

広島皆実高等学校二年 佐野 ひなこ

失敗してもその事を誤魔化さず、その失敗を成功へと変えられる大人になりたい。

大人になった時失敗しないように子供のうちにたくさん失敗しておきなさいという人がいる。まるで大人は失敗してはいけないと言っているように聞こえた。そんな私は、失敗しない自分を追い求め失敗する自分が許せなかった。だが、ある人から貰った「失敗から学ぶことができれば、その失敗は成功だ」という言葉によって私の失敗に対する捉え方は大きく変化した。失敗を恐れて立ち止まったままでは、成長することはできない。立ち止まりいつも同じ景色を見ることで失敗から逃げていた自分に気がつくことができた。いつもとは違う道を選べば、今までより多くの失敗と出会うかもしれない。しかし、その失敗から学ぶことができればその分、成功とも出会うことができるのだ。

失敗してもその失敗を成功へと変えられる大人を目指して、色々な事にチャレンジし、悩んで、考えて、少しずつ前に進んでいきたい。

私の目指す教師の姿

《高校生・一般の部 銅賞》

基町高等学校一年 松岡 美陽

地元の大学に進学して、教員採用試験に合格して、いつまでに結婚して…。私は、教師を志すようになってから、人生のプランを何となく、たてていた。高校に入学して、一、二か月程過ぎた頃、一人の先生にそのプランを話した。「つまらない。」返ってきた予想外の一言に正直、少し戸惑った。しかし、それと同時に教師になる方法や道のりはたくさんあることを教えてもらった。

「つまらない。」耳にした直後は、少し抵抗があつたこの一言には、「冒険しろ、挑戦しろ、可能性を諦めるな」と私の背中を押す、先生の熱い思いが込められていたのだろう。あれから、第一志望校を変え、ハードルの高い目標を掲げる決断をした、今の私だからこそ、そう感じる。

教師の一言は、生徒の人生・将来の選択をも変え得る。誰かの決断や選択を応援したり、時には視野を広げてあげたりするような一言をかけられるようにになりたい。そして、自分自身の冒険し続ける心も忘れずにいたい。それが、私の目指す教師の、大人の姿である。

責任ある行動

《高校生・一般の部 銅賞》

広島皆実高等学校三年 伊藤 そら

大人になるということ、それは自分自身で責任をもって行動するということだと考える。

私が中学二年生の頃、西日本豪雨により、地域で土砂崩れや建物の崩壊が起こった。そのため、急遽がれきの撤去などを行うボランティアが募集された。急遽だったにも関わらず、多くの人々が集まった。自分の家が被害にあつたわけじゃないのに参加している人もいた。当時の私はそれが不思議でたまらなかつた。参加した理由を聞くと、「自分たちが住んでいる地域なんじゃけえ、責任を持ってみんなできれいにするんよ。」との返答があつた。これを聞いたとき、私はこれが大人なんだなと思った。自分の家が被害にあつていないからいいという訳ではなく、自分が住んでいる地域のことには責任をもって行動することが大切であり、それができる人が大人なんだと分かつた。

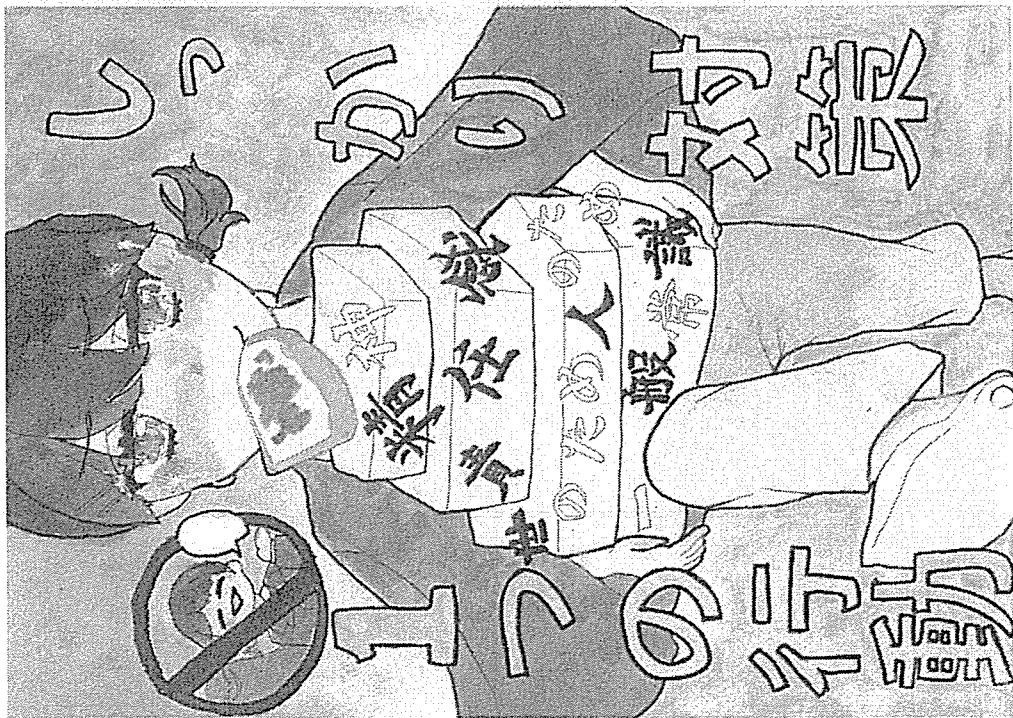
私は、この経験から責任をもって行動できる大人になりたい。そして、よりよい世の中にできるように自分の事以外の問題にも行動できる大人になりたい。

しっかり対策 1つの行動

《漫画・イラスト部門 金賞》

三和中学校二年 古林 陽架

大人になるということは、精神力、責任感、世のため人のために働くこと、一般常識を身に付けることが大事だと思ったので、女性に箱をたくさん持たせて、1つことに対しての行動に対策をきちんと行っている様子を描きました。悪徳業者にひっかからないようにすることも大切なので、周りを赤くぬって、強調させました。パンをくわえているのは、日常生活（食事をする）をちゃんとしなければいけないので描きました。足を一歩ふみ出して、前へどんどん進んでいくイメージを表しました。



向き合う

《漫画・イラスト部門 銀賞》

牛田小学校五年 柳生 唯乃

私は、しょうらい世界の問題にしんげんに向き合う大人になりたいです。私は大人になることとは、視野を広げることだと思います。子どもときは、自分のことで手いっぱいです。でも、大人になれば、人のことを考えて行動しなければなりません。例えば今問題の、ウクライナしんこう。テレビでも見ます。今は小さなことしかできませんが、大人になればいつか大きなことをして、世界のもんだいを一つでも解決したいです。

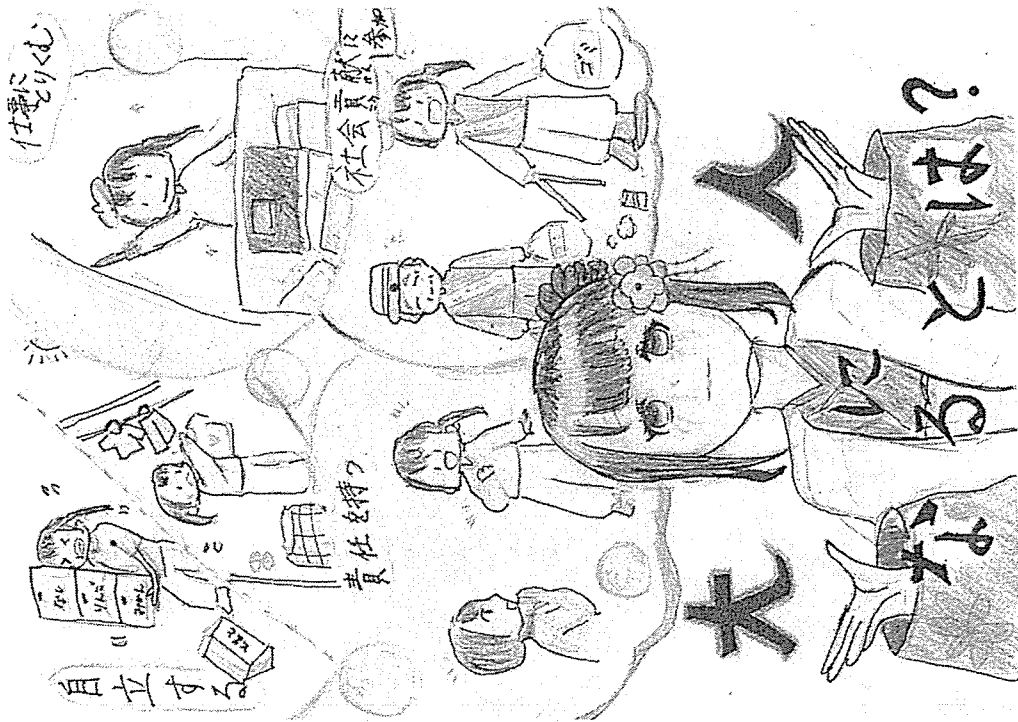


私が思う大人

《漫画・イラスト部門 銅賞》

牛田小学校五年 糸原 凛

大人になるということは、「自立する」、「仕事にとりくむ」、「責任を持つ」、「社会貢献」だと思いました。大人は自立してくらししていくし、仕事をして働いているから。子どもはあまり社会のことを考えず自分勝手です。大人は他人や周りの人のことを考えています。



前を向いて

《漫画・イラスト部門 銅賞》

祇園中学校二年 田丸 穂乃花

大人になって、つらいことがあった時に前を向いて歩いていくことができるように、という思いをこめて描きました。

